

## アナウンス部門講評

### 原稿で気になった点

- ・文章の一文が長すぎる原稿がありました。聞き手は間(ま)で情報を整理するので、文が長すぎると情報を整理することが難しくなります。
- ・普段会話で使用する言葉を使う。  
例 × 我が校 → ○ 私たちの学校
- ・体言止めを頻繁に使わない。体言止めは、普段の会話ではあまり使わないはずです。
- ・アナウンスの内容が、校内放送に適しているかどうか。大会ではあるが、あくまでの自分の学校で放送する内容になっていることが重要です。

### 読み方で気になった点

- ・英語は強弱であるが、日本語は高低です。読み下しができていない人がいます。このような場合、下からだんだん加えていく練習をオススメします。  
例 松本先生の話です。→ 理科の松本先生の話です。 → 新幹線に詳しい理科の松本先生の話です
- ・会話文の終わり方は、自然に終わる。例「…です。」と話してくれました。のような場合、と という音が強調されることがあります。
- ・文と文の間にある間(ま)は、文章とのつながりを考えて長くしたり、やや短くしたりする。アナウンスは、読み手と聴き手との呼吸だと思って話してください。
- ・1つの文章で文の途中から上がったたり、下がったり、そして上がったたり、下がったりを頻繁に繰り返す人がいます。うねらないように話すことです。
- ・助詞が伸びすぎている人がいます。普段、友人と話すように助詞を話してください。
- ・アナウンス原稿には、必ずキーワードがあります。このキーワードを疎かにしないように話すことです。キーワードは、ややテンポを落とすことです。
- ・文章の始まりの音の高さが一定ならないようにすることです。友人との会話でも使いように、添えるときは、やや低い音から始まっていると思います。
- ・愛知県は、訛(なま)っていないようで、訛っています。アクセント辞典で調べて確認しておくことです。
- ・マイクとの距離を考えて話すことです。息を吸う音が入ってしまうことがあります。

以上です。